

財団法人 全日本ろうあ連盟
理事長 石野富志三郎 様

災害時における聴覚障害者への情報保障についてのご要望について

拝啓

平素は、NHKの放送に格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたび、貴連盟からいただきました「災害時における聴覚障害者への情報保障についての要望（連本第 120002 号）」につきましてご回答申し上げます。

1. 緊急災害時におけるローカル番組を含むテレビ番組に、「手話通訳と字幕」の付与について

4月1日夜の福島県を震源とした震度5弱の地震発生時は、総合では午後11時6分頃から特設中断ニュースを放送しましたが、深夜の時間帯であったためオペレーターの確保が難しく、字幕は付与できませんでした。

NHKでは、字幕放送が付いていない場合でも、画面表示だけで状況が把握できるよう津波警報・注意報発令地域はテレビ画面に文字や地図などで表示し、津波到達予想時刻の一覧表示や、被災地域の地図への震度表示、震度の大きい地域については表での一覧表示の付加などの工夫を重ねております。

NHKとして引き続き、字幕付与の拡充に努めていく考えですが、夜間早朝などのオペレーター確保、設備面や経費面での現実的な課題がありますこともご理解いただきたいと存じます。ローカル番組の字幕付与につきましては、平成25年春を目途に、大阪局および名古屋局に設備を配置し、一部のニュースに字幕を付与していくことを検討しており、その後も拡充を図っていく予定です。ただし、全国の放送局での実施については、人材確保や設備面などから今後の課題と考えております。

手話放送につきましては、NHKの「手話ニュース」では、キャスターを外部の方をお願いしています。あらかじめ相当人数を確保し、地震や台風などの緊急報道に備えて24時間常時待機させる体制を組むことは、困難であることをご理解いただきたいと思います。そのような中、去年は、東日本大震災や台風12号、15号の災害報道において、キャスターやディレクターなどの体制を確保し手話の特設放送を実施しました。今後も可能な限り検討をしていきたいと考えます。

また、これまでもご案内しましたように、NHKでは、定時全国ニュース番組への計画的な字幕拡充と音声自動認識方式での運用とあわせて、インターネットやデータ放送等の伝送路を活用し、必要な情報をきめ細かくお伝えしていきたいと考えています

2. 緊急災害時における、ローカル番組を含むニュース、その他の必要な情報の特定
非営利活動法人CS障害者放送統一機構様への速やかな提供について

NHKでは、平成16年10月の新潟中越地震および平成19年7月の新潟県中越沖地震において、「CS障害者放送統一機構」様からのご要望を受け、NHKのホームページに掲載している地震関連情報を、一定の条件のもと提供させていただいております。また、昨年3月の東日本大震災におきましても、NHKのホームページに掲載しております「各放送局災害情報」の使用についてご要望をいただき、提供させていただきました。緊急災害時には、引き続きこれまで同様の対応をしていきたいと考えております。

緊急報道の際のニュース送出現場は、視聴者のみなさまにより迅速に最新の情報をお届けするために時間を争って対応しております。こうした状況での放送内容についての制作連携や放送実施以外での特定の相手先への情報提供につきましては極めて難しいことは、なにとぞ重ねてご理解いただきたく存じます。

貴連盟からいただきました貴重なご意見は、緊急報道をはじめとするNHKの放送等への参考にさせていただきます。今後ともNHKの放送事業にご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

敬具

平成24年4月9日

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

NHK編成局 計画管理部